

街道400年

中山道

散策マップ



鴻巣宿
▼
熊谷宿



雛人形で名高い鴻巣 絹・綿織物が盛んな

戦国時代に京都の人形師が移り住み、雛人形の産地として名を馳せた鴻巣宿。そして秩父・川越・足利方面へ通商の要路として、また絹や綿織物の集散地としてにぎわいを見せた。伝統産業で栄えた町並みをゆったりたどってみたい。



1 ひなやれき
雛屋
鴻巣市人形1
江戸時代か
人形に関す
などを紹介
店が軒を並

中山道

中山道 歩けるルート
推定ルート

※中山道のルートは時代により変わっています。ここでのルートは推定ルートです。
※掲載の地図は市町村発行の1/1万を使用（さいたま市1/2万、東

熊谷宿と 熊谷宿

産地として名を
ふる交通の要
所として見せた熊谷宿。



2 しょうがんじ 勝願寺

鴻巣市本町8丁目

中山道左手奥に山門、開山堂、鐘楼などが見えてくる。約6万坪の広大な寺院で、関東郡代の伊奈忠次・忠治の墓がある。



3 ほんじんあときわんひ 本陣跡記念碑

鴻巣市本町4丁目

加須県道を過ぎ左手に見える高野薬局奥が本陣跡。手前の路地を左に入ると、かつての本陣の所在地であることを表すこの碑文が残る。



5 どうぞつくりの土蔵造

鴻巣市雷電1丁目

鴻神社あたり。家や商家が今も残る。左手に見えてくる。現在は、現在も



ししりょうかん 歴史資料館

鴻巣市本町

江戸時代から今に至る雛人形や、貴重な古文書・写真。付近には、多くの人形店がある。



鴻巣夏まつり

江戸中期から始まったいわれ、毎年7月中旬に3日間行われる。関東最多の規模を誇る25基の神輿が、町内を練り歩く。

見どころ ♀ バス停
名所・旧跡 本町 主要交差点

国道
江戸時代末期のものをして示しています。
東京都1/2500

鴻巣宿





6 商家
 12里8町(約48km)
 家数: 566軒
 人口: 2274人
 本陣: 1軒
 脇本陣: 1軒
 旅籠屋: 58軒



6 鴻神社
 鴻巣市本宮町

明治6年(1873)に、氷川社・熊野社・雷電社の3社を合祀。神社の北側を東に走る街道は、その昔、忍行田道と呼ばれていた。



7 糠田河岸への道
 鴻巣市宮前

JR高崎線の踏切を越えてさらに150mほど進むと、左手に分離する道が現れてくる。これが糠田河岸への道で、さらに松山方面へむかう。



8 箕田観音堂
 鴻巣市箕田

平安時代中期に活躍し、守り本尊であったとされる馬頭観世音堂。このあたりは鎌倉時代の武蔵武士の

では、道の両側に旧も数軒残されている。土蔵造りの建造物を営業を続けている。

土蔵造りの商家
 鴻神社前
 鴻神社



4 法要寺
 鴻巣市本町2丁目

慶安年間(1648~51)に加賀藩が鴻巣の宿舎として利用。これにより、寺の紋所として加賀前田家と同じ梅鉢紋の使用が許された。

..... 中山道まめ知識

大火からの復興をとげ 劇的な歴史をつむぐ鴻巣宿

もとは北本にあった宿駅を慶長7年(1602)頃に移してできた宿場町。徳川家康の鷹狩用の御殿が建ち、四・九の市も立ち栄えたが、明和4年(1767)をはじめ度重なる大火で町の大半を焼失。しかし再び商業や遊興の町として繁栄した。





した源頼義の
る、由緒ある
たりは平安～
旧跡が多い。



10 箕田氷川八幡神社

鴻巣市箕田

入口近くには、宝暦9年(1759)に建てられた「箕田碑」の石碑が建ち、表面には箕田源氏の活躍、背面には渡辺綱の辞世などが刻まれる。

中山道まめ知識

身分の高い層のための特別な宿泊施設・本陣

「本陣」とは大名や宮家、公家、高僧などが利用した休泊施設。他の施設とは一線を画し、門や玄関、上段の間を設けたことが特色。大名が休泊する場合には、玄関に幕を張って門に大名名を書いた札を掲げるのが習わしだった。

8 箕田観音堂

10 箕田氷川八幡神社

9 宝持寺



9 宝持寺

鴻巣市箕田

箕田氷川八幡神社の北に隣接。曹洞宗の古刹で、渡辺綱が父と祖父の追善のために建てたと伝えられる。院号「美源院」は綱の法名。

中山道まめ知識

350年以上の伝統を築く鴻巣の雛人形づくり

17世紀中頃から人形づくりが始められ、やがて「鴻巣雛」の名称が定まった。幕末には江戸の雛問屋に知られるほど有名に。ここで開かれる人形市は「関東の三大雛市」のひとつに数えられ、現在も人形が軒を連ねている。



五街道とは

五街道とは、江戸時代「江戸日本橋」を起点とした「東海道」「中山道」「日光道中」「奥州道中」「甲州道中」の5つの街道です。各街道には宿が置かれ、宿泊施設や旅客、荷物の運搬、通信などのために、人馬が常置されました。国土交通省では、日本の交通において重要な働きをするこの五街道の役割と魅力を再発見し、また道路のもつ役割や変遷などを確認しながら、今後のより豊かな道づくり、まちづくりを、皆様のご協力をもとに進めていきたいと考えています。

(写真は五街道の起点・日本橋に設置された「道路元標」)



中山道とは

江戸時代の中山道は、日本橋から京都・三条大橋までの67宿69次、全長約135里(約530km)。埼玉県では、戸田から本庄の勅使河原まで、蕨や大宮、桶川や熊谷などを経る約19里(約75km)の道程です。



「中山道散策マップ」は、中山道にゆかりのある名所・旧跡や見どころなどを広く紹介し、その魅力をあますところなく伝えようとするものです。地図やカラー写真を満載し、実際のウォーキングが楽しめるように構成しました。400年の時代の流れとともに、古きよき時代の中山道の面影に触れることができるでしょう。



国土交通省大宮国道事務所

〒331-9649 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435
TEL 048(669)1205
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/>

平成15年10月初版
平成19年3月改訂
※浮世絵は埼玉県立博物館所蔵